

由布市商工会事業継続計画

資料番号	資料名	備考
(1) 事業継続計画		
資料①	役職員携行カード	
資料②	緊急時連絡先一覧	
資料③	避難ルートマップ	
資料④	災害対策本部メンバーリスト	
資料⑤	災害時業務リスト	
資料⑥	救護用品一覧表	
資料⑦	備蓄品リスト	
資料⑧	立ち入り判断基準	
資料⑨	帰宅判断基準	
資料⑩	感染症対策	
(2) 参考資料		
参考①	消火器の使用方法	
参考②	応急処置の方法	
参考③	負傷者情報一覧表	
参考④	職員安否情報等確認用リスト（帰宅・滞在・勤務可否含む）	
参考⑤	役員連絡先リスト（安否・事業所状況確認用）	
参考⑥	事務所被害報告シート	
参考⑦	被害情報確認シート	
参考⑧	社外被災者受け入れリスト	
参考⑨	訓練の種類	
参考⑩	地域のリスクの認識	
参考⑪	オフィスの固定対策要領	
参考⑫	水災における事前対策	
参考⑬	国土交通省出典：大規模水災害に関するタイムラインの流れ	

【資料①】役員兼執行力カード

初期動作のポイント

- 自身/家族の安全確保
- 1 自身/家族の安全確保
- 2 避難場所
- 3 家族の安全確認
- 4 安全報告
- 5 安全報告ルール
- 6 会社への安全報告

2020年版

3 家族との連絡手段

電話、携帯電話メールがつかない場合、下記の電話会社サービスも利用する。
※震度6弱以上の地震等の災害発生時に開設される。

- 【伝言板登録】携帯電話伝言板の使い方
- 【伝言板登録】各携帯電話のウェブ画面(MENU, Ezweb, Yahoo!ケータイなど)のトップメニューにある「災害用伝言板」を開き、「登録」を選択して伝言板を登録。
- 【伝言板登録】同じく各携帯電話のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、「登録」を選択して被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言板を見る。
- 【伝言板登録】携帯電話再生、再生方法
- 【伝言板登録】再生方法
- 【伝言板登録】音声ガイダンスに沿って操作

4 安全報告ルール<例>

- 安全確認システムで、必ず会社へ自身の安全を報告する。
- 安全確認システムを利用できない場合は、緊急連絡網により安全報告を行う。
※報告内容
⇒「会社への安全報告」参照
- 会社にいる従業員は、避難後に点呼を実施の上、点呼結果をとりまとめ隊長に報告する。

1 自身/家族の安全確保①

- 屋内にいる時**
 1. 机やテーブルの下に隠れる
 2. 慌てて外に飛び出さない
- 屋外にいる時**
 1. カバン、重宝等を頭を保護する
 2. 安全な建物へ避難、街路樹も活用
 3. ガラス飛散範囲→建物高さの1/2
 4. ブロック塀、門柱等に近寄らない
- 電車・地下鉄に乗っている時**
 1. 吊革等にしっかりとつかまる
 2. 乗降口に寄り寄り降車に降りたりしない
 3. ドアを開けたら線路に降りたりしない
- 車に乗っている時**
 1. 急々に減速を誘って左側に車を寄せ停止、エンジンを切る。
 2. 揺れがおさまるまで車外に出ない。
 3. 車から離れるときは、キーをつけたままにし、ロックはしない。

2 避難場所

- 勤務地を基点とした避難場所**

避難場所	避難場所
広域避難場所	広域避難場所
 - 自宅を基点とした避難場所**

避難場所	避難場所
広域避難場所	広域避難場所
- ※通勤路上の場合は各交通機関、警察、消防署の指示に従い、その地域の避難場所等に一旦避難する。

3 メッセージの登録

- NTTドコモの場合
- 1. サービスの開始
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

4 災害発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

5 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

6 従業員行動指針

- 商工会からの指示があるまでは、安全な場所を待機し、自らの判断で勝手に動かない。
- 自分自身、及び家族の人命の安全確保を第一として行動する。

7 避難場所

- 勤務地を基点とした避難場所
- 自宅を基点とした避難場所

8 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

9 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

10 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

11 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

12 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

13 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

14 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

15 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

16 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

17 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

18 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

19 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

20 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

21 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

22 地震発生時の被災想定

- NTT災害用伝言ダイヤル(171)の登録
- 1. サービスの登録
- 2. サービスの登録
- 3. サービスの登録
- 4. サービスの登録
- 5. サービスの登録
- 6. サービスの登録
- 7. サービスの登録
- 8. サービスの登録
- 9. サービスの登録
- 10. サービスの登録

■金融機関

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
銀行等	日本政策金融公庫大分支店		097-535-0331	大分市都町2-1-12		
	大分銀行 湯布院支店		0977-84-3141	由布市湯布院町川上3040番地1		
	豊和銀行 湯布院支店		0977-28-8171	由布市湯布院町川上2855番地2		
	大分県信用組合 湯布院支店		0977-84-3191	由布市湯布院町川上3056番地の6		
	大分みらい信金 向原支店		097-583-1311	由布市挾間町挾間572-1		

■各種連絡先（設備、システム、物流、損害保険など）

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
郵便局	(本所) 庄内郵便局		097-582-1012	由布市庄内町畑田278-10		
	(挾間) 挾間郵便局		097-583-1010	由布市挾間町挾間106-3		
	(湯布院) 由布院郵便局		0977-84-2600	由布市湯布院町川上3704-1		

■近隣の避難所

項目	連絡先	所在地	備考
(本所) 由布市役所 本庁舎（風水害地震）	097-582-1111	由布市庄内町柿原302番地	
(挾間) 由布市役所 挾間庁舎（風水害地震）	097-583-1111	由布市挾間町向原128番地1	
(湯布院) 由布市役所 湯布院庁舎（風水害地震）	0977-84-3111	由布市湯布院町川上3738番地1	

■消防、警察、自治体

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
消防	(本所) 由布市消防本部 庄内出張所		097-582-0119	由布市庄内町柿原306番地1		
	(挾間) 由布市消防本部		097-583-1500	由布市挾間町挾間278		
	(湯布院) 由布市消防本部 湯布院出張所		0977-85-2355	由布市湯布院町川上3066-1		
警察	(本所) 大分南警察署 庄内警察官駐在所		097-582-0310	由布市庄内町東長宝432-3		
	(挾間) 大分南警察署 挾間警察官駐在所		097-583-0200	由布市挾間町向原332-1		
	(湯布院) 大分南警察署 湯布院幹部交番		0977-84-2131	由布市湯布院町川上3499-1		
役所・役場	(本所) 由布市役所 本庁舎		097-582-1111	由布市庄内町柿原302番地		
	(挾間) 由布市役所 挾間庁舎		097-583-1111	由布市挾間町向原128番地1		
	(湯布院) 由布市役所 湯布院庁舎		0977-84-3111	由布市湯布院町川上3738番地1		

■近隣医療機関

項目	名称	診療科	連絡先	所在地	URL	備考
	(本所) 宮崎医院		097-582-0345	由布市庄内町大龍2357-1		
	(挾間) 大分大学医学部附属病院		097-549-4411	由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地		
	(湯布院) 湯布院病院		0977-84-3171	由布市湯布院町川南252		

■業務関連

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
全国連	全国商工会連合会		03-6268-0088	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 有楽町電気ビル北館19階		
都道府県連	大分県商工会連合会		097-534-9507	大分市金池町3-1-64		
近隣商工会等	九州アルプス商工会		0974-76-0151	竹田市久住町久住6161-1		
	九重町商工会		0974-76-2424	玖珠郡九重町右田3157-7		
	野津原町商工会		097-588-0101	大分市野津原800		
	大分商工会議所		097-536-3131	大分市長浜町3-15-19		

【資料②】緊急時連絡先一覧

■社会インフラ

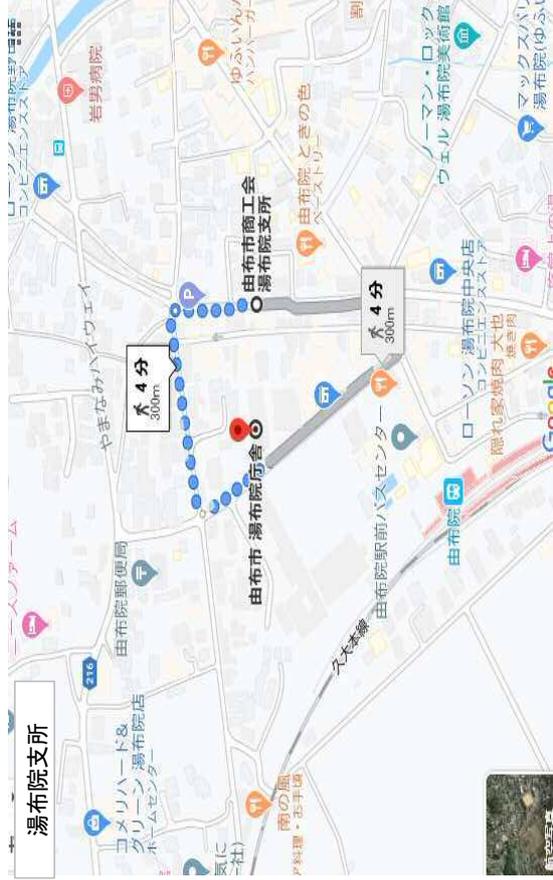
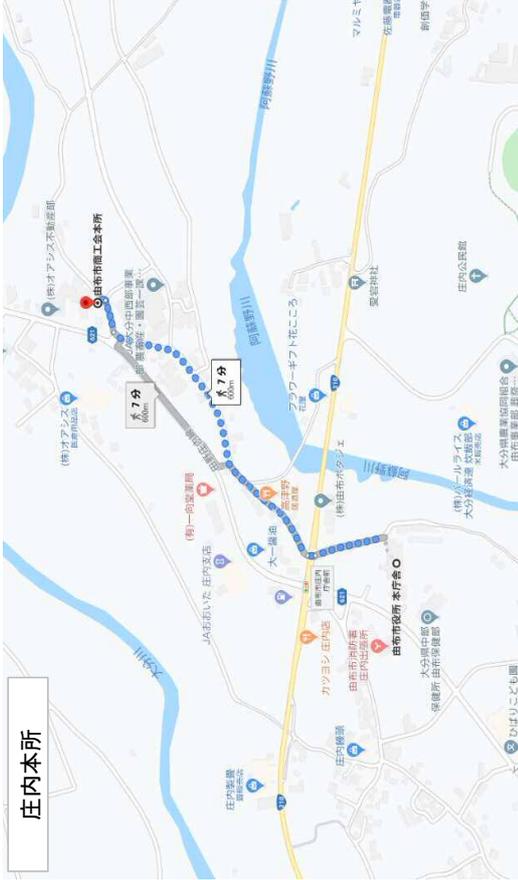
項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
電気	九州電力㈱ 別府営業所		0120-986-503	別府市餅ヶ浜町4番33号	https://www.kyuden.co.jp/	
水道	(本所) 由布市役所水道課 (挾間) 挾間振興局地域整備課水道係 (湯布院) 湯布院振興局地域整備課水道係		097-582-1328 097-583-1111 0977-84-3111	由布市庄内町柿原302番地 由布市挾間町向原128番地1 由布市湯布院町川上3738番地1		
ガス	(本所) 小野屋米穀店 (挾間) ㈱プロテック麻生 (湯布院) (株)大谷商会		097-582-0213 097-583-2233 0120-279-300	由布市庄内町西長宝2 由布市挾間町挾間596 由布市湯布院町川南242-1		
電話	NTT西日本大分支店 (フリーダイヤル)		0120-948995	大分市長浜町3-15-7		
IT/通信	NTT西日本大分支店 (フリーダイヤル)		0120-948995	大分市長浜町3-15-7		
	大分県商工会連合会	岡田	097-534-9507	大分市金池町3-1-64		

■交通機関、道路

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
鉄道 (JR)	JR庄内駅		050-3786-1717	由布市庄内町庄内原		
バス	由布市役所 総合政策課		097-582-1158	由布市庄内町柿原302番地		
道路	(本所) 由布市役所 本庁舎 (挾間) 由布市役所 挾間庁舎 (湯布院) 由布市役所 湯布院庁舎		097-582-1111 097-583-1111 0977-84-3111	由布市庄内町柿原302番地 由布市挾間町向原128番地1 由布市湯布院町川上3738番地1		

【資料③】避難ルートマップ

避難場所 (集合場所)



【資料⑥】救護用品一覧表

No.	品目	備蓄量	配置場所	更新		備考
				更新日	次期更新予定日	
1	ガーゼ	各1	本所支所事務所			
2	包帯	各1	本所支所事務所			
3	バンソウコウ	各1	本所支所事務所			
4	止血帯	各1	本所支所事務所			
5	三角巾	各1	本所支所事務所			
6	タオル	各1	本所支所事務所			
7	はさみ	各1	本所支所事務所			
8	ピンセット	各1	本所支所事務所			
9	消毒薬	各1	本所支所事務所			
10	傷薬	各1	本所支所事務所			
11	かぜ薬	各1	本所支所事務所			
12	湿布薬	各1	本所支所事務所			
13	体温計	各1	本所支所事務所			
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

【資料⑧】 立ち入り判断基準

<判断基準> 原則、建物の外観を目視で確認し、以下事象が見られた場合は立ち入り不可とする

■立ち入り不可のケース

No.	確認事項	チェック結果
1	火災が発生している	
2	不均等に沈下している	
3	×状の亀裂が壁面に多数入っている	
4	外観上、明らかに建物が傾いている	
5		
6		
7		

【資料⑨】 帰宅判断基準

＜判断基準＞ 原則、下表のチェック結果をもとに危険がないと考えられる場合に帰宅を認める

■ 収集すべき情報

- ① 行政の指針
- ② 警報の発生状況
- ③ 自宅までの経路の状況（道路や橋梁の通行可否、火災発生エリア、建物崩壊エリア等）
- ④ 自宅までの距離
- ⑤ 日没までの時間
- ⑥ 天候

■ 徒歩で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	＜帰宅先までの距離＞ <input type="checkbox"/> 帰宅先までの距離が20km以内か。（2.5km/時で歩行時間約8時間）	
2	＜日没時刻＞ <input type="checkbox"/> 日没までに帰宅できるか。 （参考）震災時の徒歩帰宅の場合の速度の目安は約2.5km/時。	
3	＜気候＞ <input type="checkbox"/> 数時間先の気候（天気・気温）について、警報等が出ていないか。	
4	＜帰路の状況＞ <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。 <input type="checkbox"/> 帰路の治安悪化に関する情報はないか。	
5	＜帰宅時の装備＞ <input type="checkbox"/> ヘルメット（あるとベター） <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器 <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 歩きやすい靴 <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（水、食糧等）	
6		
7		
8		

■ 車で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	＜帰路の状況＞ <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。	
2	＜停電＞ <input type="checkbox"/> 停電していないか。	
3	＜帰宅時の装備＞ <input type="checkbox"/> 車に燃料は十分にあるか。 <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器 <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（水、食糧等）	
4		
5		

【資料⑩】感染症対策

1. 感染症の拡大防止策

手洗いの徹底 マスクの着用	<input type="checkbox"/> 利用者・職員にマスク着用の徹底を周知し、着用していない場合は配布等に努めている。 <input type="checkbox"/> 消毒備品等を各所に設置し、利用者・職員に手洗いや手指消毒の徹底を周知している。 <input type="checkbox"/> 共用タオル等を使用しない、衣類をこまめに洗濯するなど、衛生管理を徹底している。
ソーシャル ディスタンス	<input type="checkbox"/> 行列整理や床の目印表示等により、混雑を回避している。 <input type="checkbox"/> 座席の工夫など従業員も含めて対人間隔を確保し、大声で話さないよう周知している。 <input type="checkbox"/> 対面が想定される場所への遮蔽物の設置等で接触機会を低減している。
3密※を 避けた行動 ※密閉、密集、密接	<input type="checkbox"/> 3密が予想される場合、入場者数・滞在時間の制限等を行っている。 <input type="checkbox"/> 扉や窓を開け、扇風機を外部に向けて使用するなど、定期的な換気を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員の休憩室等はできる限り換気を行い、対面で食事・会話をしないようにしている。
施設の 清掃・消毒	<input type="checkbox"/> 複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒している。 <input type="checkbox"/> 使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど密閉して捨てるよう表示している。 <input type="checkbox"/> 清掃・消毒・ごみ回収は手袋・マスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底している。
利用者・職員の 体調管理	<input type="checkbox"/> 利用者で熱がある者は入場をご遠慮いただくようお願いするなどの取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員に出勤前に検温や体調確認をさせ、毎日報告させている。 <input type="checkbox"/> 体調不良の職員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている。 <input type="checkbox"/> 所轄の保健所の確認や来場者の把握など、感染者等の発生に備えた取組を行っている。

【留意点】

新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等については、平時より拡大防止を図ることが重要であり、事業を実施していくためには、商工会館・事業所等での感染防止対策の徹底を図る必要がある。適宜各自治体が定めるガイドライン等も参考にしつつ、上記のような基本動作については予め徹底しておく。

2. 感染症発生時の対応

時間	優先業務とすべき事項	職員の対応	
発生前 (海外発生フェーズ)	<ul style="list-style-type: none"> 社内における感染防止策の周知徹底 感染流行国への出張禁止 安否確認システムによる連絡先の整備・確認および職員の家族に要介護者がいるか等の属性情報の整理 危機対策本部の設置準備 必要備品（マスク・消毒薬等）の調達 優先業務のランク付け 在宅勤務可能業務の選定 人手不足に備えた業務体制の構築（ジョブローテーション等） 	<<勤務中>> ■マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策 ■安否確認システムの確認への返信	<<勤務外（通勤中含む）>> ■マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策 ■安否確認システムの確認への返信 ■子供・要介護者等、感染が拡大した際の対応の検討
		<<勤務中>> ■感染防止対策の徹底 ■公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討 ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> ■感染防止策の徹底 ■公共交通機関をなるべく避ける ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ■不要不急の外出を避ける ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。
発生 当日	<ul style="list-style-type: none"> 安否確認システムの発動（役職員の出社体制を指示・確認） 通勤手段の確保（徒歩・自転車・自家用車を使用可能な場合優先する） 危機対策本部の設置（正副会長や役員と連絡をとり、事務局長や経営指導員責任者は参集） 削減候補業務を段階的に縮小、テレワークの指示 レイアウトの変更、時差出勤の指示 	<<勤務中>> ■感染防止対策の徹底 ■公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討 ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> ■感染防止策の徹底 ■公共交通機関をなるべく避ける ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ■不要不急の外出を避ける ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。

【参考①】 消火設備の使用方法

(1) 大きな声で周囲の人に火災を知らせ、消火器を火災場所まで運ぶ。

(2) 消火器の安全栓を抜く。



(3) ホースをはずし火元に向ける。
消火器は、2F事務所入り口にあります。



(4) レバーを強く握る。



(5) 放射する。



<参考：横浜市消防局資料から抜粋>

【注意】

天井に炎が到達または天井に燃え移った時点で、消火器による消火活動はできないと判断する。
その場合、速やかに初期消火を中止し避難をはじめると。

どうするの

人がたおれていたら

① 意識があるが叫べる

★よびかけて返事をするか、★話をできるか、
★手足を動かしているか、★痛みに対して反応はあるか、

意識を確認する方法

② 協力してくれる人を求める

★意識の障害があった場合は、すぐその場で救急車をよんでもらったり、
大声でまわりの人をよびます。

③ 5つの観察と応急手当

1. 周囲の安全の確認

たおれている場所が安全かどうかを確認し、危険な場所ならば安全な場所に移動する。

3. 救急車をよぶ

まず、意識の有無を確認し、意識がなければ近くのの人に協力を求め、救急車をよぶ。

4. 交通の確認

車が通らないときは呼吸器がしやすいよう空気の通り道を確認する。

5. 呼吸の確認

呼吸が止まっていたら、すぐに人工呼吸を行う。

2. 出血の確認

大出血があったらすぐ止血する。



★救急車のよびかたは、P8-9をみてください。
★車の中で何かつまっていたら取りのぞき、血液や体液はかきとる。
★よびかけても反応がないときは、むやみにおこしたり、触ったりしない。
★意識を確認するときは、頭をムリに動かすにさらさないようにしよう。
★正しい方法を身につけるために、応急手当の講習会を受けよう。

人工呼吸

① 顔面を人差し指で、鼻をつまみ、鼻の孔をふさぎます。

② 大きく口をまけて鼻の中に息を吹きかけて息を吹き返します。

③ 深く息を吸い入れ、もう一回息を吹返します。

④ 顔を人差し指で、鼻をつまみ、鼻の孔をふさぎます。

胸骨圧迫

① 胸の真ん中に手を重ね、両腕の肘を肩の幅より広げ、両手が胸骨（Sternum）の真ん中に位置するように1分間、100回/分まで30回位動します。（胸は硬いので。）

② 30回圧迫後、人工呼吸の2回を行います。この操作を一セットで繰り返します。



AEDが試したら

① 電源を入れます。

② 電極パッドを胸に貼る。他の片手や袖で覆っていたらタオルで隠します。

③ ショックボタンを押す。誰も電極パッドにさわっていないことを確認したら、片足踏んでいるショックボタンを押します。



④ 胸アゴの位置を確認し、AEDの指示に従って正しい位置に貼らないようにします。

⑤ 出陣は、AEDの電源スイッチに受けます。

★心臓蘇生（人工呼吸・胸骨圧迫）とAEDの手順は、講習会に参加するか、自分らの記憶や目的のある仕事（例えば、園児などの対応）が困難な場合、順番どおりの順序で行ってください。

★夏け暑さによる脱水症状に注意

夏場、注意しなければならぬのは、暑さによる脱水症状です。暑いと人間は汗をかきますが、このとき水分や塩分は体の外へ出てしまいます。すると、血液が濃れにくくなってしまい、その分血液を送り出すために心臓に負担がかかります。脱水症状をおこすと、頭痛、ほてり、めまい、体温上昇、だるさなどの症状があらわれ、意識がなくなり危険な状態になることもあります。ムリをして長い時間炎天下で運動をしないことがいちばんですが、次のことに注意しましょう。

予防法

- ★外ではぼうしをかぶり、長い時間炎天下で過ごさない。
- ★こまめに水分をとる。スポーツドリンクは糖分や塩分、ミネラルも同時に補給できます。
- ★寝不足やつかれているとさらにムリをしない。

応急手当

- ★休憩 涼しい状態に安静をさせ、意識をゆるめたりめがせたりして、体を冷やす。
- ★冷却 エアコンの入っているところ、風通しの良い日かげなどですすしいところで休ませる。
- ★水分補給 水が飲めるようであれば、少しずつ水を飲ませる。

※ほてりがある、意識がはつきりしないなど、危険な状態であれば救急車をよぼう。

4. ねんざ

1 三角せん1枚を用意し、
たなみ、中央を足のうら
に当てる。

2 三角さんの両はしを
足首の方に回し、
足首で交差させ、両
はしをかかととかなな
めにまいた三角さん
の内側に通す。

3 三角さんの両はしを
足首の前で結び、
足首の内側で結び、
足首のうしろに引き上げて
交差させる。

応急手当

1. 痛風は冷やす。
2. くつはそえ木の
かわりになるので、
ぬがなくてその上
から三角せんや布
などで固定する。

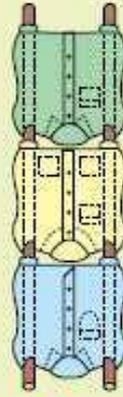
知ってるど便利!

★応急担架のつくり方

動けない人を運ぶときは、衣類や毛布を使って、
応急担架をつくりまします。

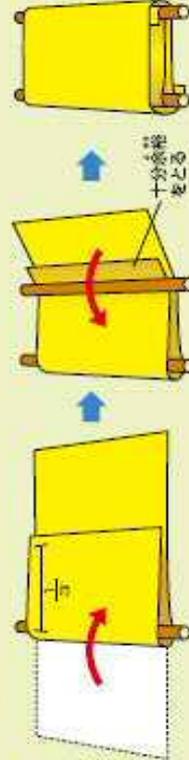
1 上着を活用

服のように2本の棒に上着を通します。



2 毛布を活用

毛布の1/3のところを棒を置いて、毛布を巻き返してつくりまします。



○×クイズ・応急手当編 大きな災害のときは、小さなけがでもすぐに病院へ行く?

救急箱の中身

★救急箱の中身の例

※救急箱はいつも同じ場所に置こう。
※薬やガーゼは使ったらすぐに補充しよう。
※年1回は点検をして、古くなった薬やガーゼは捨てよう。
※救急箱の中身は必要最低限のものだけにしよう。



読みもの

病院がいっぱいになってしまうと...

災害が発生して多くのけが人がでると、みんな病院でてもらおうと尋ねます。しかし、病院やお医者さんも被害を受け、満足な手当ができませんことも考えられます。ただでさえけが人がいっぱい、しかも施設が使えないそのとき問題になるのが、本当に手当を必要としている人と、そうでない人の区別です。災害時に、けがの程度に応じて患者を区分していくことを「トリアージ」といいます。トリアージはフランス語で、もともとはトリアージ・タックという色のついたラベル(黒、赤、黄、緑)を使って患者の区分をします。わたしたちも本の知識ばかりでなく、講習会などで体験することによって、応急手当や救出救療の知識を身につけ、いざというときに役立てたいものです。



トリアージ・タック

(トリアージ) 知恵など大なり災害のときは、病院やお医者さんも被害を受けているので、十分は手当ができません。知恵、けがのときは、自分たちで応急手当できるように知識を身につけておこう。

第②章

おぼえておこう！応急手当
身につけよう！

大きな災害が発生して、けがをしてしまった場合、また、自分は無事でも家族やまわりの人がけがをしている場合、どうすればよいのでしょうか。災害時は、ふだんのように救急車がかけつけられないことも考えられます。こうした場合にそなえて、少しでも役立つ救急手当の知識を身につけておきましょう。

ケガの
応急手当

やってみよう！

1. 切り傷・**出血**
などによる

キズの手当ては、1.出血を止める(止血)、2.細菌の侵入を防ぐ、3.痛みをやわらげる、という3つのことを意識しながら行う。



応急手当

- 1.出血しているところを完全におおえる大きさの清潔なガーゼや布でやや強く押しえ、止血する。
- 2.患部を清潔に保ち、包帯などを巻く。
- 3.じかに血液にふれないようにビニール・ゴム手袋を利用する(ズボン・パーの紐などもよい)。

応急手当

- 1.流水で患部を冷やすのがいちばんよいが、水が出ないときは、水でぬらした清潔なガーゼやタオルをひんぱんにかえて冷やす。
- 2.水がくれば暖まらないようにする。
- 3.患部が一ぱかききれいな布を当て、包帯をする。



2. やけど

※キズ、やけどの場合、やたらに医薬品を使うのはやめよう。
※キズ口に清潔、わたやチリ紙を当てないようにしよう。
※キズややけどがひどい場合は、病院でみてもらおう。

3. 骨折

★骨折のみがた

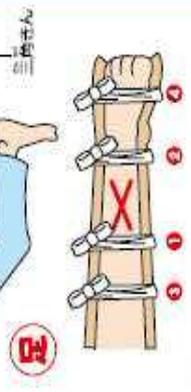
- 激しい痛み ●はれたり変形している
- 冷や汗がでたり、腫れがする ●さわってみると骨がまわっている
- キズ口から骨のはしが出ている

応急手当

- 1.出血している場合は、その手当てをする。
- 2.肩子を当て、痛くない位置で固定する。肩子は骨折部分の上下の関節より長くする。
- 3.骨が突き出しているときは、その上に清潔なガーゼか布を当て、シーツなどでくるむ。



腕



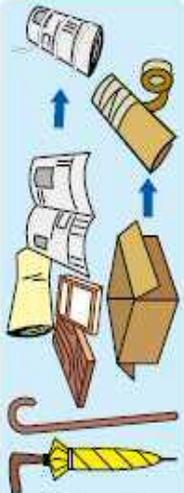
足

- 1.骨折しているところに肩子を当て、その上下を固定する。
- 2.三角ざんでつついたあと、さらに荷役で固定する。
- 1.骨折しているところの両側から、肩子を当てる。
- 2.関節が動かないよう、1〜4の順番に固定する。

固定のしかた

★肩子とは？

棒や板、かざ、ステッキ、段ボール、新聞紙・雑誌(かたく折り返げる)、毛布などで、骨折部分を動かさないように固定できるもの。



※骨折したところをはっきり固定して動かさないようにする。
※骨がとび出している場合でも、元に戻さない。また、キズ口は洗わないこと。
※固定が痛まざると血の流れが悪くなり、危険な場合もあるので注意する。
その観察のために、指先や足先が青えるようにしておく。

【参考③】負傷者情報一覧表

月 日 時 分 (24時制) 時点

No.	受付日時	所属	負傷者氏名	救護所受付者	負傷箇所	症状	処置	ステータス			備考
								症状	病院への搬送状況	家族への連絡状況	
1						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
2						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
3						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
4						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
5						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
6						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
7						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
8						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
9						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		
10						軽・重・死		不要・未・済(/、 :)	不要・未・済(/、 :)		

【参考⑤】役員連絡先リスト【安否・事業所状況確認用】

※役員のア否、事業所の状況を認するリストです。

※改選や役職の変更の都度本リストを更新し、緊急時に対応できるようにしてください。

安否	商工会役職	氏名	住所	電話番号	事業所・家族の状況	
	会 長					
	副会長					
	副会長					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	理 事					
	監 事					
	監 事					

【参考⑥】事務所被害報告シート

確認場所		確認日時	
確認者			

確認項目		確認内容	確認結果	備考
火災		火災発生の有無		
執務室内	床	陥没		
	壁・扉	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
	PC端末	破損、落下、転倒		
	その他			
廊下	床	陥没		
	壁	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
給湯室	ガス	漏れ、ガス臭		
	水道	漏水、水が出るか		
	その他	棚、食器の破損		
トイレ	水道	漏水、水が出るか		
	便器など	破損		
	窓・鏡	ガラス割れ		
建物全体	建物躯体	倒壊の恐れ		
	電力	停電		
	空調	停止		
その他				

【参考⑨】訓練の種類

訓練名称	概要	実施目安	実施予定日	実施日
避難訓練	<p>実際に定められた避難経路に沿って避難行動を実施する。</p> <p>※留意点1 津波想定区域については、津波避難訓練も併せて実施する。</p> <p>※留意点2 大規模水害の場合は、垂直避難(2階避難、階上避難)と水平避難(避難所避難、高台避難等)の2種類の避難が想定されることに留意する。</p>	年1～2回	()月()日 ()月()日	()月()日 ()月()日
消火訓練	事務所内にある消火器の扱い方や消火方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
水防訓練	大規模水害に備えた止水版・土嚢設置等の訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
応急救護訓練	応急手当の方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
救助訓練	下敷きになった人の救助方法や搬送方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
安否確認訓練	導入している安否確認システムの扱い方について訓練を実施する。	年1～2回	()月()日	()月()日
帰宅訓練(徒歩)	交通機関が遮断していることを想定し、徒歩での帰宅を実施する。	年1回	()月()日 ()月()日	()月()日 ()月()日
災害対策本部設置訓練	災害対策本部のレイアウト等を確認し、スムーズに本部が設置できるか訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
災害対策本部参集訓練	災害対策本部メンバーの参集ルールに従い、参集できるかどうか訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
通信機器操作訓練	導入している通信機器(衛星電話、IP無線等)の作動状況、操作方法等を確認する。	年1回	()月()日	()月()日
バックアップデータに関する訓練	バックアップしているデータや書類が利用できるか、バックアップ場所から取り出す訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
図上シミュレーション訓練	ある災害シナリオを想定し、決められたルールに従って災害対応ができるか、シミュレーションにて訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日

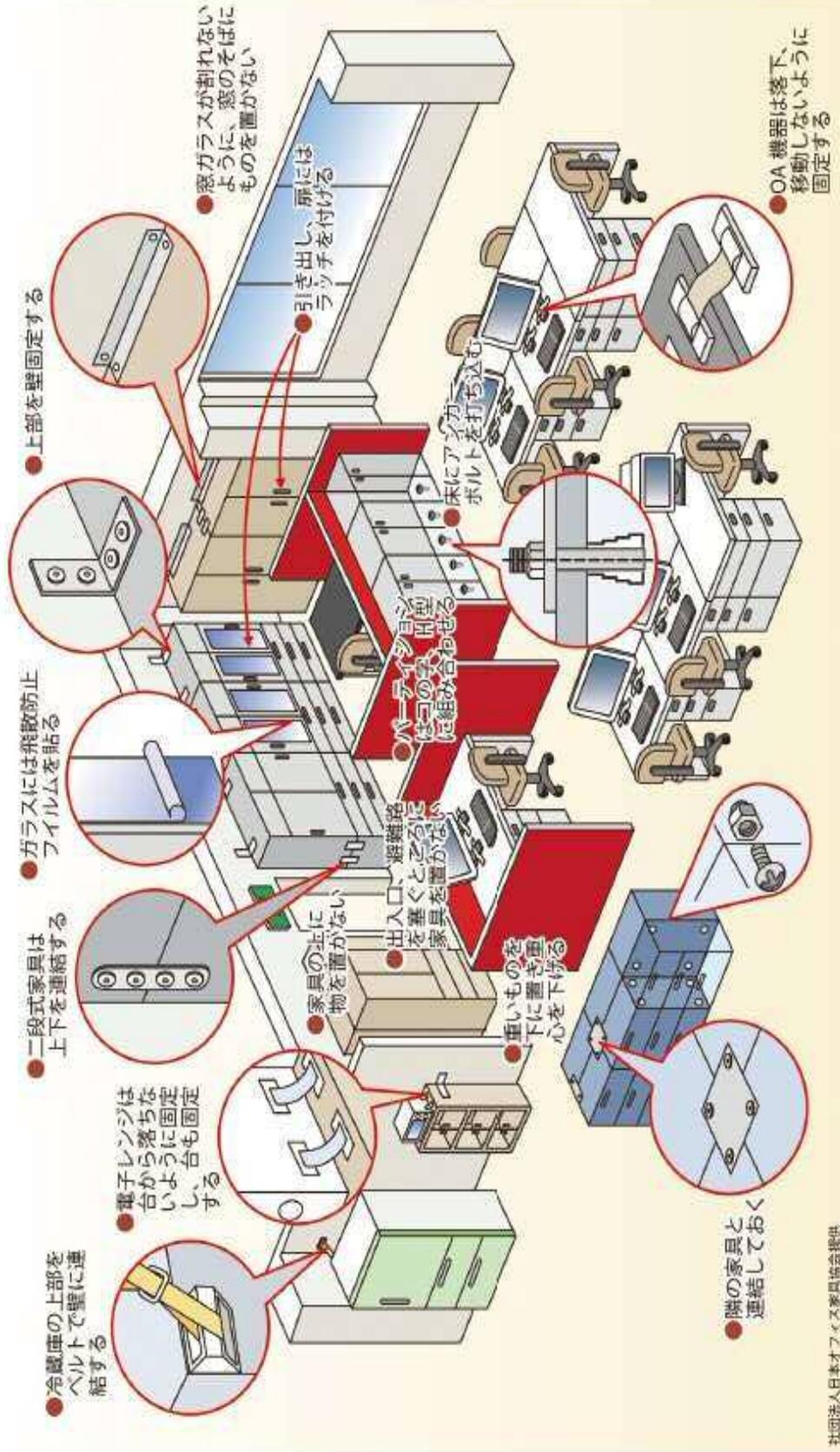
【参考⑩】地域のリスクの認識

下記URLのほか、国及び各市町村等が発表しているハザードマップ等を参考に、事前に自所を取り巻くリスクを認識しておきましょう

災害	調査項目	発行元	コンテンツ	URL	備考
地震	主要地震を調べる (規模・発生確率)	地震本部 (政府地震調査 研究推進本部)	長期評価	http://www.iishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/ite_summary/	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	震度分布を調べる (海溝型地震)	国土交通省	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
	震度分布を調べる (活断層型地震)	同上	同上	同上	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	津波浸水深を調べる	国土交通省	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j010u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
国土地理院		2万5千分の1 浸水範囲概況図	http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html	東日本大震災の津波 浸水範囲	
水災	主要河川を調べる	国土交通省	川の防災情報	http://www.river.go.jp/kawabou/ipKozuiMap.do?areaCd=82&gameId=01-0401&fldCt1Party=no	スマホ版は位置情報 活用
	想定浸水深を調べる	同上	同上	同上	同上
		同上	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j010u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
火山	火山の危険エリア等を 調べる	国土交通省	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
土砂災害	土砂災害の危険エリア を調べる	同上	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j010u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	

オフィスの固定対策要領

オフィス家具等の転倒防止対策の例



社団法人日本オフィス家具協会提供

※東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック—室内の地震対策—平成24年7月」より

水災における事前対策

平常時の対策	
<p>施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 建物の修繕計画を策定し、運用している。 ・ 建物全体としての健全な状態を維持するためには、部材の適切な修繕・更新期間に基づいて計画的に工事を行うことが重要である。スレートや笠状鉄板の更新周期は概ね30年が目安とされている。 ・ 劣化が顕著になる前の予防保全、修繕費用の把握、工事時期の調整などが可能になる。 ・ 部材の劣化状況によっては、斜面より前倒しへの対応が必要となることも想定されるため、予定の前年などに専門業者による点検を行った上で、工事実施時期を判断することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 建物の定期点検項目を明確にし、劣化や損傷、不具合の箇所を修繕・解消している。 □ 外装材のひび割れや穴 □ 外装材や屋外設置物の留め金具の錆や緩み □ 窓やシャッターのがたつき □ 雨漏り箇所 □ 壁と防水の劣化 □ 排水系統の詰まり □ 非常用発電機、排水ポンプの燃料補給・試運転 □ リスクが大きいと考えられる箇所に対策を施している。 □ 間柱・小梁による窓枠周りの補強 □ 窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼り付け、あるいは強化ガラス・網入りガラスの採用、あるいは雨戸の設置 □ 中柱設置によるシャッターの二面化、あるいは重量のあるシャッターへの取換え □ スレート、鉄板などの外装材の留め金具の増設 □ 倒れそうな樹木の補強、あるいは除去 □ 浸水危険の小さい場所へのデータサーバーや重要書類の保管庫の設置 □ 重要データの複製 □ 受変電設備の嵩上げ □ 浸水センサー、感圧計の設置
<p>資機材・備蓄品</p> <p>施設・取寄品防護用</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 土のう □ 止水板 □ 防水シート □ バケツ □ パレット(保管品の嵩上げ用) □ はしご □ 針金 □ ロープ □ ガムテープ □ 排水ポンプ <p>人命安全確保用</p> <ul style="list-style-type: none"> □ ヘルメット □ 長靴 □ 手袋 □ 雨合羽 □ 懐中電灯 □ ゴムボート □ 担架 □ 拡声器 □ トランシーバー □ 従業員名簿 <p>事業継続・帰宅困難対応</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 非常用発電機 □ 非常食 □ 飲料水 □ 非常用トイレ □ 毛布 □ 簡易間仕切り(プライベート空間の確保) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 配置図(建物や設備、保管品の設置場所が示されたもの) □ 危険箇所図(危険箇所が図面に示されたもの) 	<p>行動計画・マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 事前防災行動計画(タイムライン)を策定している。 □ 災害のピークから逆算した時間軸での対策 例: 台風最接近時を基準に、+48時間、-24時間、-12時間、-6時間、...、+3時間の実施事項の明確化 □ 対策実行のきっかけの設定 例: 気象庁の各種注意報・警報が発表された際の実施事項の明確化 □ 緊急時の行動基準・対応マニュアルを策定している。 □ 避難場所の設定 □ 安否連絡・確認方法 □ 設備の安全な停止方法 □ 事業継続計画(BCP)を策定している。 □ 中核事業の特定 □ 目標復旧時間の設定 □ 取引先との協議 □ 代替策の用意
	<p>訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 実動訓練を実施している。 ・ 緊急時対応マニュアルどおりに行動ができるか実際に動いてみる(土のうの配置、排水ポンプの起動など)。 □ 図上訓練を実施している。 ・ 仮想の台風シナリオに基づいて、災害対策本部の情報伝達や意思決定がスムーズに行われるかシミュレーションする。

※MS&ADインターリスク総研発行レポート(2015年8月)より抜粋

【対策例】

<止水版の設置>



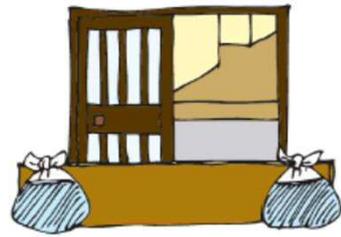
出典:国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

<土嚢の設置>



出典:国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

<水嚢と板による簡易止水版>



出典:国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

<排水路の確保>

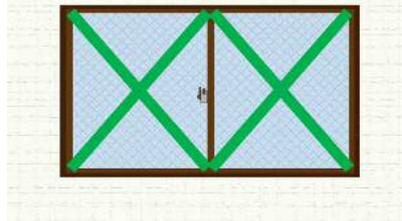


落ち葉やごみを取り除き、排水路を確保する。



出典:国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

<窓の養生>



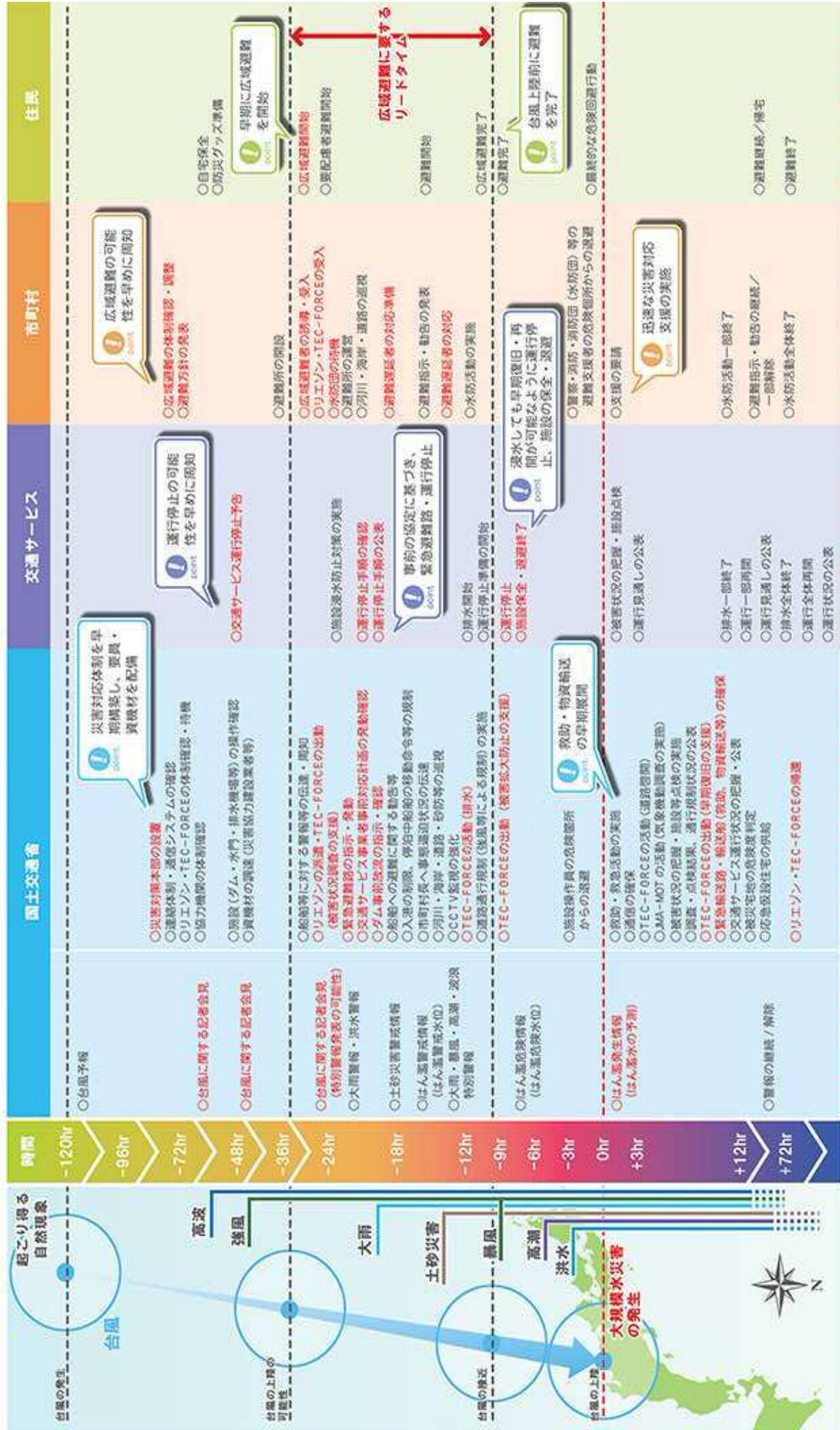
出典:天災インフォ.comより引用

<排水ポンプの稼働>



出典:国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

大規模水災害に関するタイムライン（防災行動計画）の流れ



※タイムラインに関わる関係機関、防災行動は多岐にわたりますが、本イメージは国土交通省の対応や広域避難と交通サービスの順目として整理したものであり、時間軸の設定、対応の実施などにあたっては、今後の検討、調整が必要になります。また、赤字は特に対応強化の必要と考えられる項目です。